

第35回日本医療薬学会年会 メディカルセミナー7 (MS7)

座長

柴田 ゆうか 先生
日本大学薬学部
薬剤師教育センター教授

演者

島ノ江 千里 先生
佐賀大学医学部附属病院
薬剤部長・教授・副病院長

**Maruishi
Pharmaceutical
Co., Ltd.**
信 頼 と 合 意

薬剤部発 YOKOGUSHI 実践： 地域医療と病院経営の変革シナリオ

事前予約について
学術集会HPにて事前予約を行っております。
事前予約がない方は当日空席がございましたら
先着順でご案内させていただきます。
詳細は学術集会HPをご確認ください。

▶日時

2025年**11月22日** (土)
12:00 ~ 13:00

▶会場

第**8**会場
神戸国際会議場
3F 国際会議室
〒650-0046 兵庫県神戸市
中央区港島中町6丁目9-1

第35回日本医療薬学会年会 メディカルセミナー7 (MS7)

薬剤部発 YOKOGUSHI 実践：地域医療と病院経営の変革シナリオ

本セミナーでは、薬剤部を起点としたYOKOGUSHIの実践を通じて、病院経営および地域医療の変革に向けた取り組みを紹介する。医療資源の偏在、人材確保の困難、経営環境の複雑化といった構造的課題に対し、薬剤部の潜在力が十分に活用されていない現状を踏まえ、今後の薬剤部が果たすべき戦略的役割に改めて着目する必要がある。

YOKOGUSHIは、組織や職種の壁を越えて知識とリソースを融合させ、相乗効果を生み出すアプローチである。薬剤師は、院内外の連携を担うハブとして、このアプローチの中核を担いうる存在である。院内においては、医師・看護師・事務職・執行部との横断的なチーム形成により、協力体制と組織文化の再構築を通じて、医療の質とコスト効率の向上の両立が可能となる。一方で地域においては、薬局薬剤師や医療機関との連携による包括ケアの推進、ならびに専門性を育むリカレント研修体制の整備を通じて、人的資源の強化と医療の均てん化に貢献することができる。

こうした実践を支える基盤として、薬剤部における健全なチームビルディングは不可欠である。YOKOGUSHIの理念に基づき、薬剤部の専門性と組織機能を強化し、病院全体および地域全体を視野に入れた戦略的展開が求められる。大学病院の経営企画を担う薬剤師視点からは、薬剤部を「人材開発」「知の循環」「経営資源の最適活用を意識した風土づくり」に貢献する戦略的資源として再定義したい。

本講演では、薬剤部の機能を再構築する二つの変革シナリオ①治療価値・倫理・財務・制度をつなぐ“薬剤使用ガバナンス”の構築、②地域薬剤師の育成環境の構築—を取り上げる。これらに共通するのは、薬剤部を戦略的資源と位置づけ、知識と人材を循環させることで、現場・経営・地域をつなぐ持続可能な仕組みへと展開していくという考え方である。今後、医療の「質」と「コスト効率」の両立を支える医療提供体制の再構築において、薬剤部の力はますます重要性を高めると期待される。

佐賀大学医学部附属病院 教授・副病院長・薬剤部長
島ノ江千里